

研究所中間報告

2010.7.7

研究員 剣持智美

1. 研究の名称

(旧) 土地管理領域モデルにおける地籍の定義や意義

～ 地籍に関する先行研究及び世界的動向

(新) 土地管理領域モデルから地籍の意義を考える ～ 地籍に関する世界的動向

2. これまでの研究経緯

○ FIG 2010 シドニー大会の概要の整理

2010年4月11日から16日までシドニーで開催されたFIG（世界測量者連盟）大会について、特に「地籍と土地管理」の研究・議論をしているCOM7関連のイベントに焦点をあてて概要をまとめています。今年、2007-2010作業期間の最終年にあたり、4年間の活動を総括するような報告書や、Enemark会長らの取り組みの集大成ともいえる書籍も出版されているので、地籍や土地管理に対する考え方を整理するのに役立つと考えています。

【別添資料】 FIG 2010 シドニー大会 COM7 報告（会報7月号原稿）

FIG 2010 シドニー大会 プログラム

FIG 2010 シドニー大会 総会議題

FIG 2010 シドニー大会 総会報告

FIG 2010 シドニー大会 COM7 の 2009 年活動報告

FIG 2010 シドニー大会 COM7 報告プレゼン資料（議題6の資料）

○ Cadastral Template の概要の整理

プロジェクトに参加している41ヶ国のうち、オーストラリア、ドイツ、スイス、スウェーデン、オランダ、ハンガリー、マレーシア、中国、韓国の9ヶ国に焦点をあてて、各国の地籍制度などを表にまとめています。

【別添資料】 Cadastral Template Project（2010.1.31 中間報告の別添資料）

Cadastral Template 統計

Cadastral Template 組織体制

Cadastral Template 表（← このように整理していきたいという見本）

3. 主な変更点

○ 2010.1.31 の中間報告では…

研究の概要を「LADM の議論を追いながら、地籍の定義や意義を明確にすることを目的として、地籍に関する先行研究や世界の動向について整理する」として、(1) 手持ちの文献の中から地籍の定義について書かれている部分、(2) 地籍テンプレートプロジェクトの中から各国の地籍制度の歴史・目的・概念・内容、(3) 地籍に関する最近の研究を抜粋し紹介しました。

○ 現在考えているのは…

LADM の議論を追うというよりも、地理空間情報フォーラム 2009 の論文でまとめた LADM の根底にある思想や LADM の意義をスタート地点として、LADM 構想に至るまでの地籍に対する考え方の変化をもう少し深く見ていきたいと思います。キーワードは、Cadaastre、Land Management、Land Administration、LAS、LADM あたりになると思います。